

①昇竜しだれ梅 ②しだれ梅



一本一本の「しだれ梅」を、竜が勢よく天に昇るように仕立てた、全国に例がない珍しい花梅です。大草山の佐藤農園では、しだれ梅のトンネルを歩いて楽しむことができます。

③梅



長楽寺では1月～3月上旬まで香り良い梅が、歴史ある寺の境内に咲きほこります。梅の花が情緒ある本堂跡へ続く石段の両側を覆い、「梅のトンネル」として親しまれています。

④⑤チューリップ



チューリップは世界中で人気のある球根植物です。現在の品種リストには5,000を超える品種が登録され、およそ1,000品種が世界中で育てられています。浜名湖ガーデンパークには110種類、10,000球のチューリップが咲き誇ります。

⑥フルーツアーモンド



アーモンドの花はとてもきれいなピンク色で、桜より早くお花見が楽しめます。はままつフルーツパークとときのすみかには、国内最大規模の約400本が植えられ、あたり一面が桃色に染まります。

⑦⑧⑨⑩桜



日本には200～300種類以上の桜がありますが、野生で咲いている桜は10種類。はままつフラワーパークにはソメイヨシノ、ヤマザクラ、シダレ桜、八重桜など様々な種類の桜が咲き、中でも八重桜は日本一の本数を誇ります。

⑫源平しだれ桃



一本の木に白と紅、紅白の絞りの3色を咲かせる花桃です。源氏と平氏が競ったように、3色の花が競うように咲き乱れます。カナメ神宮では4月上旬から3色のしだれ桃のグラデーションを楽しむことができます。

⑬トキワマンサク



国内で3カ所しか自生していない群生地のひとつで、県の天然記念物にも指定されています。開花期には細いボンのような花弁が株全体を覆うように咲くため、遠くからでもその美しさが楽しめます。

浜名湖花めぐり×アメイジングガーデン・浜名湖 集印帳ガイドマップ

アメイジングガーデン・浜名湖

浜松・浜名湖及び静岡県西部エリアの花や庭園と、多彩な観光資源を組み合わせたガーデンツーリズムを展開する「アメイジングガーデン・浜名湖」は、国土交通省が創設した「ガーデンツーリズム登録制度」に登録されています。

このマークはアメイジングガーデン・浜名湖の構成庭園です。



⑭ネモフィラ



浜名湖ガーデンパークでは、早春になると約30万本のネモフィラが一気に花開きます。見渡す限りの美しく青い花はまるで絨毯のよう。展望塔からは、ネモフィラで作った地上絵と浜名湖が一望できます。

⑮藤



房状に垂れ下がる姿が美しい藤は、4月下旬～5月上旬に紫・白・ピンクなど様々な色が楽しめます。はままつフラワーパークでは、170mの藤棚や庭木仕立てなど表情豊かな姿を見ることができます。

⑯渋川つつじ



渋川つつじは葉が3枚ずつ、花も3輪ずつ開花します。蛇紋岩地帯にのみ群生し、分布範囲が狭い貴重な植物で、渋川つつじ公園内に自生する約4,000本の群落は、県の天然記念物に指定されています。

⑰みやまつつじ



半落葉低木で高さ1～3m、葉は枝先に集まってつき、楕円形で長さ2～4cmです。見頃には山一面に淡い赤紫色の花が咲き、花の向こうには浜名湖を眺めることができます。

⑱さつき



東海一の名園とも言われる龍潭寺庭園は小堀遠州の作庭と伝えられ、その美しさは国指定名勝になるほど。四季折々の変化に富み、5月から6月にかけてはさつきが鮮やかに色づきます。

⑲茶室内庭園 (松韻亭)



浜松城に隣接する茶室の呈茶席から、新緑や紅葉など、四季折々の風情ある日本庭園を眺めながらお茶と和菓子をいただきます(有料)。日本文化を味わうことができます、格別の空間です。

⑳青葉もみじ (遠江国一宮 小國神社)



清々しいご神域を流れる宮川沿いの杉と檜の古木が立ち並ぶ散策路を歩み、青葉もみじを眺めながらの森林浴は格別な癒やしのひとときとなります。足元には可憐な山野草も咲いています。

㉑㉒ハナショウブ



アヤメ属に分類される多年草です。加茂荘花鳥園では約600種50万本が栽培されており、紫、白、薄紫など色とりどりの品種が咲き競います。

㉓あじさい・ささゆり



[あじさい]6～7月にかけて色とりどりの花を咲かせます。奥山高原では1万株のあじさいのグラデーションが楽しめます。[ささゆり]西日本で見られる野生種のユリで、6月頃に白やピンクの花を咲かせます。

㉔㉕バラ



花の女王と称えられ、多くの人々から愛されている華やかなバラ。はままつフラワーパークにはローズガーデン、浜名湖ガーデンパークには花美の庭があり、それぞれ美しいバラを眺めることができます。